# 台風騒動記（1956）

**メディア** 映画
**ジャンル** コメディ
**製作国** 日本
**色彩** B&W
**時間** 107分
**初公開日** 1956/12/19
**公開情報** 松竹

**【解説】**
杉浦明平のルポルタージュ『台風十三号始末記』を、八住利雄と山形雄策が脚色し、山本薩夫が映画化した風刺喜劇。海辺の町が巨大台風の直撃を受け大きな被害を受ける。県会議員、町長、議長たちは、無事だった小学校をわざと取り壊し、台風の被害だと国から一千万円の補助金を受け取ろうと画策していた。町議会は町長の責任で校舎の取り壊しを決定、学校は砂煙を上げて倒壊する。大蔵省から監査官が来るという知らせを聞き、町長夫人はバス停で監査官を待っていた。一人の青年がバスから降りるのを見て、町長夫人は彼を料亭へ連れ込み、買収しようとする。

**【クレジット】**
**監督** 山本薩夫
**製作** 松本酉三
吉野順二
**原作** 杉浦明平
**脚本** 八住利雄
山形雄策
**撮影** 前田実
**美術** 平川透徹
**音楽** 芥川也寸志
**録音** 安恵重遠
**出演** 佐田啓二
菅原謙二
佐野周二
野添ひとみ
桂木洋子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.